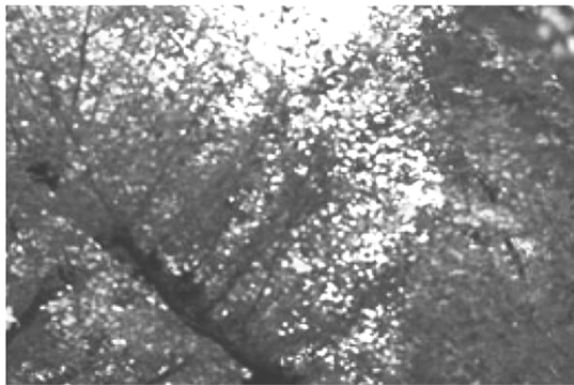




2012



UNGL 活動実績



作成元：西日本学生リーダーズ・スクール（UNGL）事務局
ungl@stu.ehime-u.ac.jp 089-927-8922

事業概要

● 大学間連携共同教育推進事業とは

国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組の中から、達成目標が明確で高い成果が見込まれる取組を選定し、重点的な財政支援を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを活かした機能別分化を推進することを目的として、平成 24 年度から文部科学省が開始した事業です。

● 取組名称

西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム（英語名称: University Network for Global Leadership Development in West Japan）

● 連携の種類

地域連携

● 事業期間

平成 24 年度～平成 28 年度（5 年間）

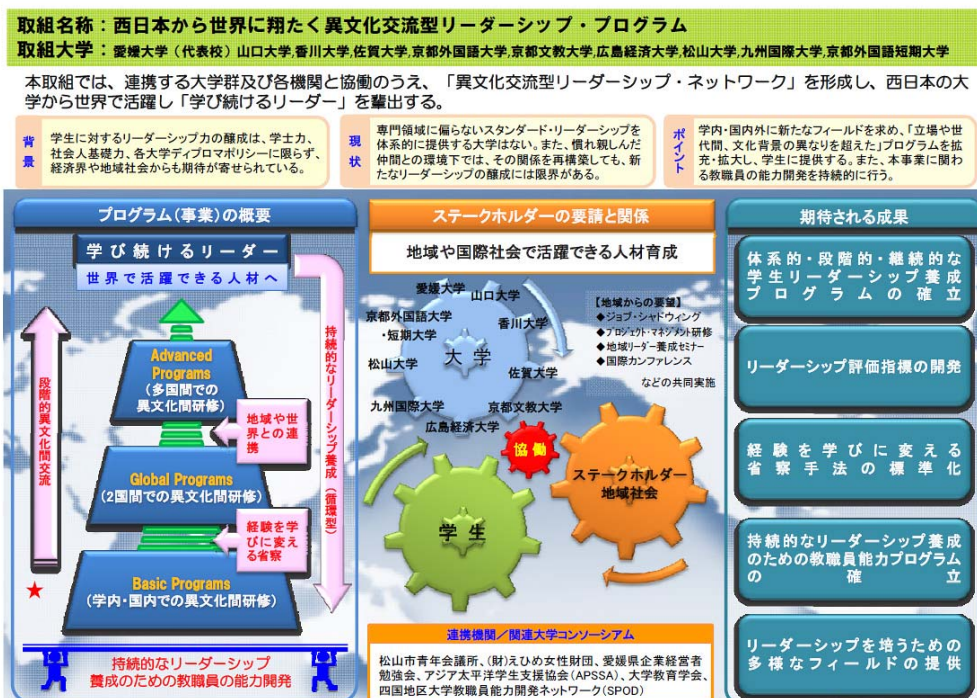
● 連携校

愛媛大学（代表校）・山口大学・香川大学・佐賀大学・京都外国語大学・京都文教大学・広島経済大学・松山大学・九州国際大学・京都外国語短期大学

● 連携機関

松山市青年会議所・財団法人えひめ女性財団・愛媛県企業経営者勉強会（理解ラボ）・アジア太平洋学生支援協会（APSSA）・大学教育学会

平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」選定取組



平成 24 年度の取組とその参加者数

レベル	日程	プログラム名	担当大学	学生		教職員		その他	総数
				連携校	連携校外	連携校	連携校外		
Basic Programs (国内)	H25 年 2 月 14 日 ～2 月 15 日	九州国際大学 リーダーズ・ウィンタースクール	九州国際 大学	22	0	2	0	0	24
	H25 年 2 月 16 日 ～2 月 17 日	佐賀大学イベントプランナー養成講座	佐賀大学	33	0	2	0	0	35
	H25 年 3 月 3 日	山口大学 新明倫館リーダーズ・スクール 「常識を見直す知的レッスン」	山口大学	10	0	3	0	0	13
	H25 年 3 月 7 日 ～3 月 12 日	えひめライン ～東北と愛媛にいる自分を繋げるプロジ ェクト～	愛媛大学 松山大学	31	0	2	0	4	37
Global Programs (2 国間)	H25 年 3 月 26 日 ～3 月 31 日	第 1 回リーダーシップ・チャレンジ in 韓国(開催大学:南ソウル大学)	愛媛大学	27	0	13	0	1	41
学生リーダーシ ップ・カンファレ ンス	H25 年 2 月 20 日	第 1 回学生リーダーズ・カンファレンス in 松山大学	愛媛大学	115	12	38	3	15	183
学生リーダーシ ップ・カンファレ ンス	H25 年 2 月 21 日	第 1 回学生リーダーズ・カンファレンス in 松山大学 アドベンチャー・リーダーシップ体感合宿	愛媛大学	90	0	19	3	0	112
				328	12	79	6	20	445

U N G L 事業報告書

プログラム名	Global Programs 「リーダーシップ・チャレンジ in 韓国」																							
実施日	平成 25 年 3 月 26 日 (火) ~ 3 月 31 日 (日)																							
実施先	韓国・南ソウル大学、郡山大学																							
参加者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>教職員</th> <th>学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛媛大学</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>松山大学</td> <td>2</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>九州国際大学</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>広島経済大学</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>山口大学</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>			大学名	教職員	学生	愛媛大学	5	3	松山大学	2	15	九州国際大学	4	9	広島経済大学	1	0	山口大学	1	0	合計	13	27
大学名	教職員	学生																						
愛媛大学	5	3																						
松山大学	2	15																						
九州国際大学	4	9																						
広島経済大学	1	0																						
山口大学	1	0																						
合計	13	27																						
完了報告	<p>参加学生は、数名 1 組のグループを形成し、渡航前に各グループでの日本文化に関わるセミナーを企画した。その後、韓国の南ソウル大学・郡山大学において、日本語を学習している韓国学生対象にセミナーを実施した。帰国後、5泊6日の研修全体の振り返りが教職員監督のもと、学生中心に行われた。途中、教職員による厳しい指摘も飛び交い学生が涙する場面もあったが、学生自身の経験に基づく学びが促進された。また、学生自身による新たな気づきが発表され、学生間で刺激を受ける場面も見られた。帰りのバスの中では、愛媛大学および松山大学の学生による自発的な振り返りが行われ、事後学習や新たな気づきが促進された。</p>																							
<p>【プログラム到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 価値観、立場、文化背景などが異なる組織での協同活動に求められるリーダーシップがどのようなものかについて説明することができる 2) 目的や計画に基づき、自己の行動やストレスをコントロールすることができる 3) グループ活動に積極的に参加し、グループに貢献することができる 4) グループで設定するテーマについて、効果的なセミナーを計画・実施することができる 5) 韓国の言語や文化に慣れ親しむことができる <p>【プログラム概要】</p> <p>日本の学生グループによる日本語を学習している韓国学生を対象にしたセミナーと、愛媛大学に短期交流で学んだ学生による研究成果発表を行う。また、事前・事後研修を行い、価値観、立場、文化背景などが異なる組織での協同活動に求められるリーダーシップについて整理する他、自己の伸ばすべき強みと、開発すべき弱みについて知る。</p>																								

【プログラム内容】

3月26日(火)

●韓国への移動および南ソウル大学教員との顔合わせ(写真①、②)



写真①移動の様子



写真②夕食の様子

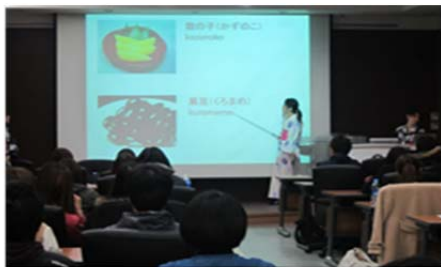
5:40 に松山大学正門に集合し、研修開催式を行った。研修中のリーダーおよびセミナーグループの中から代表者(サブリーダー)を選び、研修目的の最終確認後、バスで九州国際大学正門まで移動した。

バスと飛行機を乗り継いで移動した。途中体調不良者が一人出たため、教員一名が付き添いのため、仁川空港から南ソウル大学ゲストハウスへ直接移動した。

全体参加者は、安秉杰先生(南ソウル大学)と夕食会場で合流した。本研修を円滑に進めるために研修行程の確認を行った。夕食終了後、南ソウル大学ゲストハウスへバスで移動した。

3月27日(水)

●学生セミナー実施(写真③、④)



写真③セミナーの様子(お祝い事)



写真④セミナーの様子(今と昔)

愛媛大学および松山大学の学生によるセミナー6つが実施された。午前は「語学」「お祝い事」、「サブカルチャー」をテーマとしたセミナー3つ、午後は「今と昔」「教育」「平和」をテーマとしたセミナー3つが、それぞれ発表された。

●セミナーの振り返り(写真⑤)

発表された6つのセミナーの振り返りが行われた。各セミナーについて、発表者および聴衆者(学生、教職員)のコメントも出された。その後、各セミナー班に分かれ、事前研修の様子も含めた振り返りが行われた。最後に、個人の研修中の目標の達成度やセミナー班への貢献度も学生自身に評価させた。



写真⑤振り返りの様子

●交流会(写真⑥)

李聖哲先生(南ソウル大学副学長)、安秉杰先生(南ソウル大学)、Kwon Seong 氏(Hanbat National University)を交え、多数の韓国人学生との交流会が行われた。交流会開催時および閉会時には、南ソウル大学副学長より「韓国と日本の架け橋になるために、色々な分野の勉強をして視野を広げてほしい」というメッセージが送られた。



写真⑥交流会の様子

3月28日(木)

●学生セミナー実施(写真⑦、⑧)



写真⑦セミナーの様子(合コン)



写真⑧群山大学での最終セミナー

セミナー開催会場を南ソウル大学から群山大学に移動してセミナー3つが実施された。午前には、九州国際大学の学生による「合コン」「告白」をテーマとしたセミナー2つ、午後は松山大学の学生による「平和」をテーマとした最終セミナーが発表された。

●錦江河口干拓地の展望台見学(写真⑨)

都市開発のために埋め立てられた干拓地の堤防から建設計画が遅れている(政治的背景と経済状況により)区域の状況を見学した。並びに展望台も見学した。韓国が抱える現状問題について考える場となった。



写真⑨干拓地の展望台

3月29日(金)

●地域社会見学(写真⑩)

韓国の歴史や、韓国と日本の両国の過去と現在の関係性理解を深めるため、韓国の施設見学(独立記念館、華城、韓国民俗村)を行った。学生にはそれぞれの施設でガイドの方が付き添い、施設の説明はもちろん、韓国の文化や歴史の背景に関わる詳細な説明が行われた。



写真⑩地域社会見学(華城)

3月30日(土)

●教職員による振り返り(写真⑪)

研修全体を振り返る教職員ミーティングが行われた。セミナーに対する感想、学生個人に着目した振り返り、教職員自身の言動や行動に対する振り返りがなされ、教職員同士の意見交換が行われた。



写真⑪教職員振り返りの様子

3月31日(日)

●移動

教職員バスで南ソウル大学ゲストハウスから仁川空港へ向かった。学生はホームステイ先から各自仁川空港へ移動し、教職員と学生が仁川空港で集合する形となった。その後、福岡国際空港まで飛行機で移動した。飛行機の中では学生が振り返りシートを活用しながら、研修の振り返りを行った。福岡国際空港到着後、九州国際大学までのバス移動中は、セミナー班内の学生同士で振り返りの客観的評価が行われた。

●研修全体の振り返り（写真⑩）

5泊6日の研修全体の振り返りが教職員監督のもと、学生中心に行われた。途中、教職員による厳しい指摘も飛び交い学生が涙する場面もあったが、学生自身の経験に基づく学びが促進された。また、学生自身による新たな気づきが発表され、学生間で刺激を受ける場面も見られた。



写真⑩研修の振り返りの様子

【アンケートからのコメント】

- ・無関心の怖さ、自分で物事をしっかり考えること、相手の話をしっかり聴いてから物事を判断する大切さを学んだ。
- ・相手や周りの状況を見て行動し、自分が伝えたいことをしっかりわかりやすく伝えられるよう、話をする機会を大切に、経験を積み重ねたい。
- ・失敗を恐れてはいけない。感謝の言葉など簡単なものは覚え、ジェスチャーを交えて伝えることを心がけた。
- ・準備を万全にすること。「つもり」ではいけない。普段から人にわかりやすく話す努力をした。

大学間連携共同教育推進事業

西日本学生リーダーズ・スクール（U N G L）ホームページのご案内

U N G L の活動に関する最新の情報は、下記ホームページからもご確認いただくことができます。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.ungl.jp/>

2014 年 10 月 29 日 発行

2014 年 11 月 13 日 一部修正